

2009年 4月号

みんな好きやねん フェアプレー

スポーツ きみが主人公!

スポーツは平和とともに!

発行者：新日本スポーツ連盟大阪府連盟

〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央 1-16-15

三双ビル 2階

TEL 06-6942-4751 FAX 06-6942-4753

ホームページアドレス <http://www.osaka-sports.net>

メールアドレス office@osaka-sports.net

スポーツおおさか

桜満開！花見で種目交流だ！！



筍の煮物、サラダ、巻き寿司、おにぎり、コロッケなどなど多彩な1品に参加者も大喜び、ビールと日本酒、酎ハイ、焼酎と差し入れのワインで乾杯を繰り返して、楽しい一時となりました。

初めて参加した人が多く、「夜桜は初めてや」「桜満開の下で見事やな」と口々に話され、自己紹介では、各種目のアピールと、スポーツ連盟との出会いなどが披露されていました。



来年も明るいライトを用意してやりましょうの声も出され、無事花見会は終わりました。

4月10日(金)夜、大阪城公園にて好例の「花見で種目間交流」を開きました。

テニス、バレーボール、卓球、スキー、サッカー、ウォーキング、バドミントンの7種目と神路筋トレ教室からの26人が参加して、大阪城公園のお堀の横にブルーシートを敷いて、桜の花びらが舞い散る中で、賑やかに楽しく愉快的な花見交流会となりました。

花も見頃で散り始めの風流な中、各自1品持ち寄り宴会で、刺身の造り、キズシ、焼き肉、



サッカー協の植山さん、テニスの溝口さんがハーモニカ持参でみんなからのリクエストに応じて、“涙そうそう”など名曲の数々を聞かせてくれました。

卓球協の山本さんは、奥さんとご一緒に来ていただき、熱々カップルぶりを披露していました。

宴もたけなわの中、渡辺 紀雄府連理事長の挨拶など、親しみこもる参加者のスピーチに拍手がわいていました。

テニス全国マスターズ大会 和歌山県で開催！



4月2日（水）～3日（木）の両日、和歌山市紀井見寺庭球場（8面）において、全国テニスシニア大会が開催されました。

大阪からは、小東 喜久次副理事長、川野 弘之事務局長、テニス協の志賀 万喜子理事長などの7チームが参加し、全国からの参加者と交流を深めました。

第1日目は、風が強く、テニスボールが風に流されるというコンディションの中、第1日目のゲームは無事に終え、各チーム熱戦が展開されていました。

120才～130才の部以外は、この日に勝敗がつき、試合終了後に表彰式が行われ、大阪から140才代で出場した、本郷・大場ペアが優勝し、喜びの商品を受け取っていました。

夜は、シーサイド観潮荘の宿舎に移動して、大交流会が催され、北は群馬県～南は広島県の11府県から60人が唄に踊りにと、和やかな雰囲気の中での交流会となりました。

第2日目は、120才～130才代のクラスは、後半戦が残っており、このクラス出場の川野・兼沢ペアは、この日は4戦全勝しましたが、前日の痛恨の2敗があるため、入賞を逃がして3位となりました。

この他に女子130才の部の志賀・奥田ペアもこのクラスの優勝チームを破りながら3位となりました。

反核平和マラソン大会の成功めざして 第1回実行委員会開かれる！

4月8日（水）府連盟事務所にて、第28回関西網の目・反核平和マラソン大会の成功を目指す第1回目の実行委員会が、6コースの代表参加で開催されました。

北出 祥夫実行委員長より、冒頭の挨拶があり、続いて川野 弘之事務局長より、今年の反核平和マラソン大会を取り組む方針が、提案されました。

実施日は、2009年7月5日（日）例年通り府下9コースで実施していく事。また、北摂コースの出発地点を島本町役場前からにすることなどが提案され、意見交換されました。

特に2010年核不拡散条約（NPT）再検討会議に向けて、「アピール：核兵器にない世界を」の署名も各コースで参加者にも署名用紙を渡して、目標も決めて取り組んでいく事等が話し合われました。

また、平和マラソンへの各自治体首長さんのメッセージについても、去年は深過半数を上回ったが、今年は全自治体からメッセージをと、大阪44自治体全部に申し入れをして「非核宣言都市」としての協力を求めていく事等が話し合われました。

おして5月連休明けには、全市町村へ案内して5月中に各自治体廻りをする事を確認し、岸和田コースは5月20日、枚方コースは21日ときめて、行動することになりました。

会議では、河内長野コースの代表から「暑い夏の開催は、危険が多いので他の日程は」という意見が出されました。8月ヒロシマ・ナガサキの原爆投下のスケジュールに合わせて開催する意義は大きいこと、また各コースではランナーへの給水対策など、万全を期してやっていく事で防いでいこう等が出され、引き続き国民平和行進の日程にそって開催していく事を確認されました。

諸準備などで各コースでも打ち合わせをして、さらに広がりをも強めていく事で了承しました。

次期実行委員会の日程は、次の通りです。

第2回	5月25日（月）	午後6時半～
第3回	6月24日（水）	〃
まとめ会議	7月13日（月）	〃

核兵器のない世界を求めて行進！！

国民平和行進は、5月6日東京・夢の島を皮切りに出発し、大阪へは6月30日（火）奈良県から大阪柏原市にはいり、7月7日（火）に兵庫県川西市へと繋いで行きます。

スポーツ連盟も全国的に各県が行進をつないでおり、大阪では各コースを歩くことにしています。

最寄りの地域で連盟員さんも行進に参加をよろしくお願いいたします。

関西ブロック少年少女剣道大会開く！！

豆剣士 400人が技を競う



3月21日（土）堺市、金岡公園体育館において、第29回関西ブロック少年少女剣道大会が開催されました。

この大会は、毎年春に開催され、兵庫県と大阪が持ち回りで開催する運びとなっています。今年、大阪府連盟が主管する番で剣道関係者が

早くから会場押さえなどで準備を進めてきました。

この日は小春日和の暖かさで会場には、早くから多勢の豆剣士が防具をかついで集まってきていました。

遠くは、岡山県、兵庫県からバスを仕立てての参加もあり、会場は豆剣士の熱気で体育館フロア一っぱいにウォーミングアップの申し合わせ稽古に励んでいました。

午前9時30分には開会式が始まり、主催者を代表して、川野 弘之（大阪府連盟事務局長）が豆剣士の健闘と審判や大会運営関係者への労をねぎらいました。



大会は、午前中は個人戦が8コートに分かれて、391人の出場で行われ、小学生1年生の部から、中学生2～3年生の部まで、11部門で競われました。

小学生1年生の部の豆剣士も日ごろの練習の成果を試合に発揮すべきメン、ドオーの気合のこもった試合に応援する各剣友会から大きな拍手が飛んでいました。

大会は、正午過ぎに各部門の決勝戦が一斉に開始され、館内で応援する声援をひととき大きくなっていました。



午後からは、団体戦が始まり小学生低学年の部、高学年の部、中学生の部に69チームの参加で熱戦が交わされていました。

今大会には、大阪、兵庫、奈良、岡山の4府県から27剣友会の参加で、年に1回の大会を楽しむにしている参加となっています。

団体戦も手に汗を握る好試合が続き、小学生低学年の部は、神戸技吉己勝館、高学年の部も神戸技吉己勝館A、中学生の部は照道館剣友会Aが優勝の栄冠を獲得しました。

成績は次の通りです。

第29回 関西ブロック少年少女剣道大会

		優 勝	準 優 勝	3 位	
		小学1年生以下の部	神戸枝吉己勝館 藤岡 晋也	剣竜会 田所 一希	三木別所少年剣道教室 成瀬 沙弥
小学2年生の部	成文剣友会 瀬戸 心葉	清水台剣修会 峯松 和輝	生駒剣友会 尾中 結珠	園田誠剣会 高桑 嘉浩	
小学3年生の部	神戸枝吉己勝館 岡森 悠利	大阪つばさ剣道クラブ 姜 寧漢	剣竜会 齋藤 大輝	北六甲台剣友会 阿江 博生	
小学4年生の部	大阪つばさ剣道クラブ 千丸 大葵	照道館剣道会 石田 匠海	照道館剣道会 野崎 勇太	神戸枝吉己勝館 鈴木 港大	
小学3・4年生女子の部	神戸枝吉己勝館 荻野 まどか	神戸枝吉己勝館 植田 華加	清水台剣修会 宮崎 陽奈	照道館剣道会 飯田 千聖	
小学5年生の部	神戸枝吉己勝館 山中 大輔	神戸枝吉己勝館 表 大河	神戸枝吉己勝館 井上 創	照道館剣道会 猪瀬 僚太	
小学生6年生の部	牧野明剣館 野間 武	神戸枝吉己勝館 三宅 陽介	堺剣協青少年センター剣道会 川岸 仁	清水台剣修会 富岡 巧真	
小学5・6年生女子の部	剣竜会 松本 知香子	堺剣協青少年センター剣道会 黒川 藍	神戸聖和台剣友会 安田 佳世	剣竜会 山中 麻友香	
中学1年生の部	北六甲台剣友会 中西 憲吾	剣道名和会 澤野 平	清水台剣修会 石上 純平	清水台剣修会 王 亮太	
中学2・3年生の部	照道館剣道会 堤 一真	剣竜会 井谷 太郎	五葉剣道会 大石 隆広	北五葉剣道クラブ 向井 友樹	
中学生女子の部	照道館剣道会 渡邊 美輝	照道館剣道会 檜田 有里	堺剣協青少年センター剣道会 小日山 瑞希	照道館剣道会 伊藤 里桜	

団 体	小学生低学年の部	神戸枝吉己勝館	照道館剣道会	北六甲台剣友会 A	生駒剣友会 A
	小学生高学年の部	神戸枝吉己勝館 A	剣竜会	北六甲台剣友会 A	神戸星和台剣友会 A
	中学生の部	照道館剣道会 A	剣竜会 A	五葉剣道会 A	神戸星和台剣友会 A



第46回 大阪スポーツ祭典

今年も大阪府、府教委、大阪市、市教委の後援を受ける！

今年で46年目を迎える「大阪スポーツ祭典」は、4月7日付で大阪府からの後援が受理されています。

昨年は、36チーム4,577人の参加があり、府下のスポーツ関係者からも全国大会につながる大会として、期待が寄せられています。

すでに種目では案内を強めており、昨年を上回る参加チーム・選手をと張り切っています。